

 議会だより

# かわしま



「八ッ保地区体育祭」

## 9月定例会

審議結果

P 2 ~ P 5

委員会の動き

P 6 ~ P 7

一般質問 町の考えを問う

P 8 ~ P 12

No. 119

平成29年10月25日

# 決算認定!!

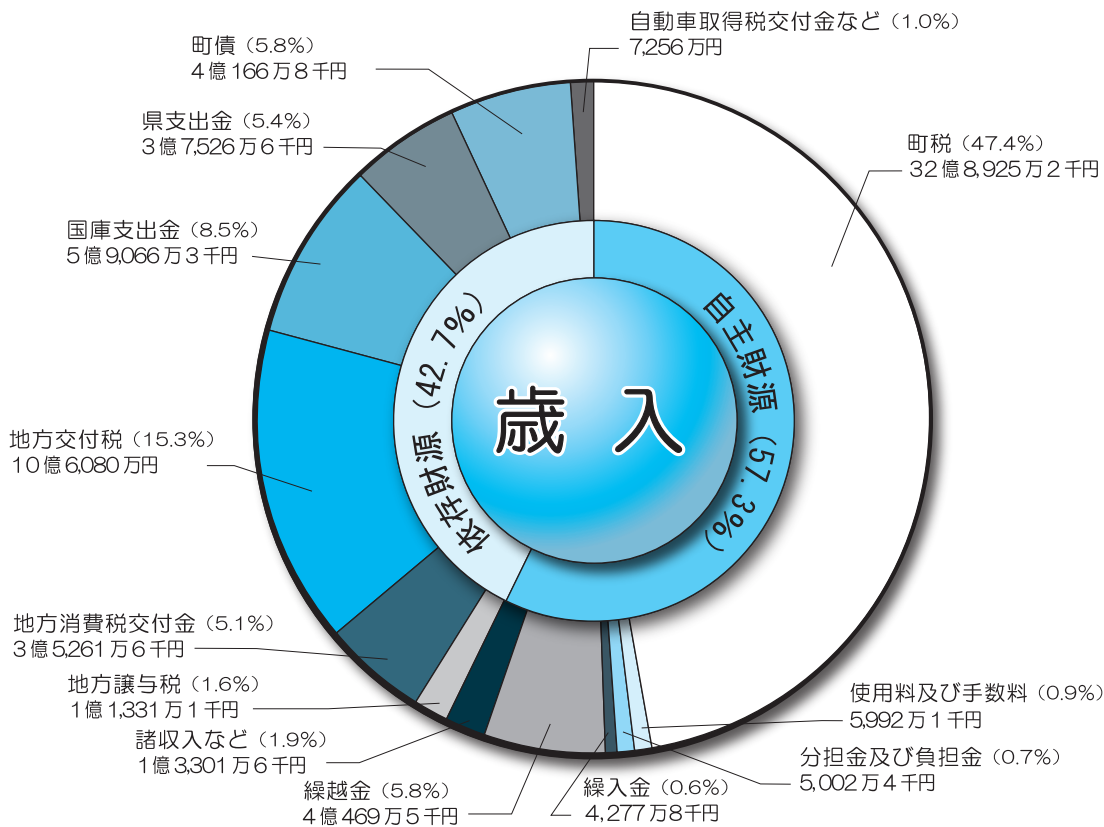
# 9月 定例会

9月5日～15日

平成28年度 一般会計 歳入

69億4,657万1千円

一般会計決算など19議案を審議



### 依存財源とは?

国又は都道府県から交付される収入である。地方交付税のほか国庫支出金・地方譲与税・都道府県支出金などがある。

### 自主財源とは?

地方公共団体が自主的に調達できる財源である。個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ消費税、入湯税などの町税のほか手数料・使用料・財産収入・寄付金などがある。

	事業収益	事業費用	純利益
水道事業会計	4億6,407万2千円	5億351万4千円	▲3,944万2千円
	資本的収益	資本的支出	収支差引額
	3,976万円	1億7,039万4千円	▲1億3,063万4千円

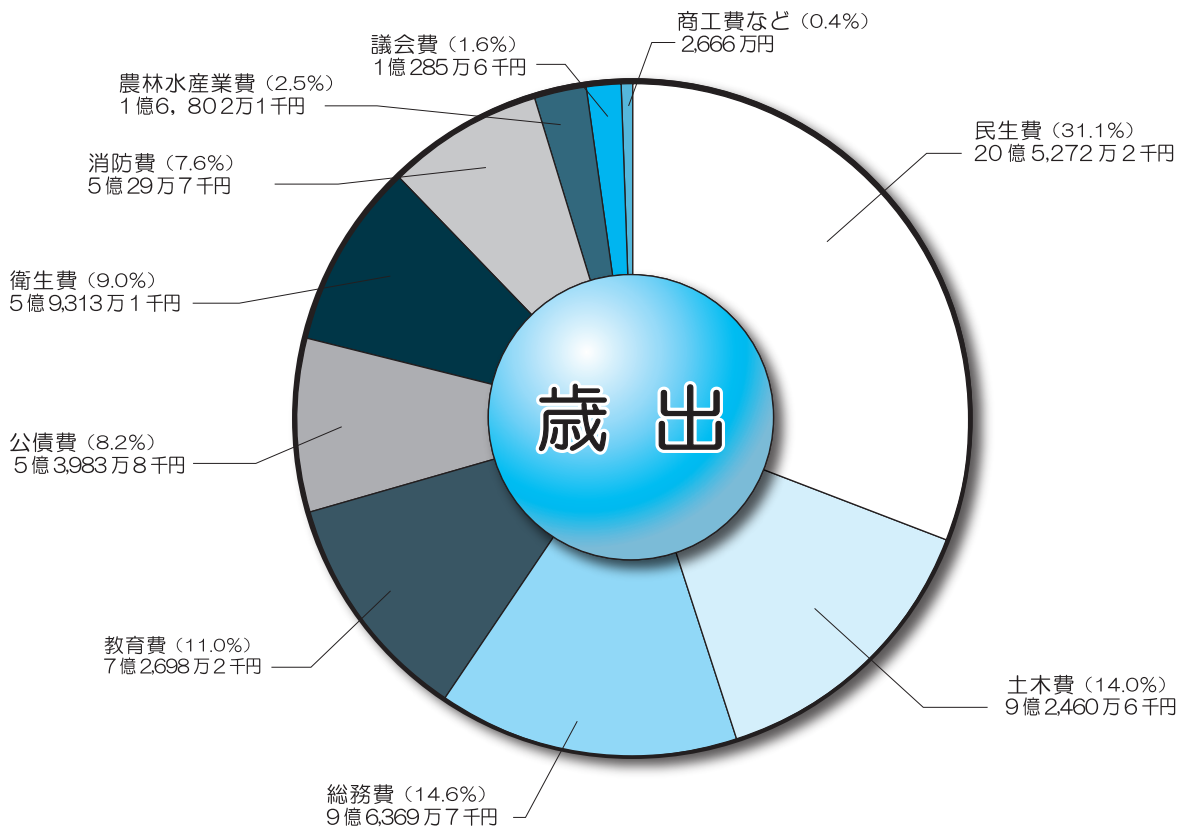
\*水道事業会計の収入不足については、損益勘定留保資金などにより補っています。

まち財政運営は健全

# 平成28年度

## 平成28年度 一般会計 歳出

65億9,880万9千円



## 平成28年度 特別会計・企業会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険特別会計	32億1,614万5千円	29億8,118万4千円	2億3,496万1千円
学校給食費特別会計	7,981万円	7,953万5千円	27万5千円
下水道事業特別会計	4億69万6千円	3億9,580万7千円	488万9千円
介護保険特別会計	16億1,609万9千円	15億6,197万2千円	5,412万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億8,072万9千円	1億7,865万円	207万9千円
合計	54億9,347万9千円	51億9,714万8千円	2億9,633万1千円

# 9月定例会 議案審議結果

平成29年9月定例会は、9月5日から9月15日までの会期11日間で開催されました。主な議題は、条例の一部改正等2件、補正予算6件、決算認定7件、議員提出議案1件等を審議しました。また、一般質問は8人が登壇し活発な質問が展開されました。議案の審議結果は次の通りです。

## 条例

■議案第40号 川島町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

結核性疾患による病気休暇の期間を一般の疾患と同様の期間に改めることに伴い、条例を改正するものです。  
(全員賛成・可決)

■議案第41号 川島町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例を定めることについて

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、川島町農業委員会の委員の定数を10人、農地利用最適化推進委員の定数を9人に定めるものです。  
(全員賛成・可決)

## 補正予算

■議案第42号 平成29年度川島町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ3,798万5千円を増額するものです。  
主なものは、児童福祉費及び道路橋梁費の追加等です。  
(全員賛成・可決)

■議案第43号 平成29年度川島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億8,113万9千円を増額するものです。  
主なものは、基金積立金及び諸

支出金の追加等です。

(全員賛成・可決)

■議案第44号 平成29年度川島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ3,68万9千円を増額するものです。  
主なものは、予備費の追加です。  
(全員賛成・可決)

■議案第45号 平成29年度川島町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ4,325万3千円を増額するものです。  
主なものは、償還金及び還付加算金の追加等です。  
(全員賛成・可決)

■議案第46号 平成29年度川島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ75万1千円を増額するものです。  
主なものは、償還金及び還付加算金の追加等です。  
(全員賛成・可決)

■議案第47号 平成29年度川島町水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出のうち事業費用を90万7千4百円増額し、資本的支出のうち建設改良費を38万4千円増額するものです。  
(全員賛成・可決)

## 決算認定

■議案第48号 平成28年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

■議案第49号 平成28年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

■議案第50号 平成28年度川島町学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

■議案第51号 平成28年度川島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

(全員賛成・認定)

■議案第52号 平成28年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

■議案第53号 平成28年度川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

(全員賛成・認定)

■議案第54号 平成28年度川島町水道事業会計決算認定について

(全員賛成・認定)

## 債権の放棄

■議案第55号 債権の放棄について

川島町水道事業会計規程第21条

# 主な議案

の規定により、不納欠損処理を行い水道料金未収金と分離して管理している債権のうち、回収が見込めないものを放棄するものです。  
**(全員賛成・可決)**

## 契約の締結

■議案第56号 工事請負契約の締結について(町道3557号線道路整備工事)  
 町道3557号線道路路整備工事の請負契約を7,387万2千円で(株)島村工業と締結するものです。  
**(賛成多数・可決)**

## 諮問

■諮問第1号 人権擁護委員の推薦について  
 人権擁護委員「福島彰」氏の後任として、「加藤法子」氏を推薦するものです。  
**(全員賛成・承認)**

## 議員提出議案

■議提第4号 朝鮮民主主義人民共和国による核実験及びミサイル発射実験に抗議する決議について  
 朝鮮民主主義人民共和国による核実験やミサイルの発射実験に対して、抗議と遺憾の意を表明するとともに、政府に国連安保理決議の実効性の確保を求めることを決議しました。  
**(全員賛成・可決)**

# 各議員の賛否

(○は賛成、×は反対、-は議長を表しています。)

	議案	議員氏名													審議結果	
		松原謙司	稲村美代子	小峯松治	遠山尚	新井悦子	栗岩輝治	爲水順二	飯野徹也	菊地敏昭	石川征郎	道祖土証	山田敏夫	小高春雄		
9月 町 長 提 出 会 議	議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第48号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	議案第49号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	議案第50号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	議案第52号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第56号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
諮問第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認	
議員提出	議提第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	

(※議員名は、議席順となっております。)

# 農地利用の最適化のために、推進委員を新設

●川島町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例を定めることについて

問 農地の所有、耕作は、委員の資格要件か。

答 任命要件は、「委員会所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者」です。

●平成29年度川島町一般会計補正予算（第2号）

問 公園費の借地料の追加の内容



稲刈りの風景

は。

答 平成の森公園の南の砂利敷の駐車場についてです。平成25年度から相続等の問題により支払いを停止していましたが相続が行われたため、これまでの分も含め支払うため追加するものです。

問 臨時職員への一時金の在任期間等による支給方法の変更については。

答 臨時職員は半年単位での任用をしていますので6月と12月に在職していれば支給対象となります。半年に満たない場合は勤務期間に応じ調整することもございます。

問 企画費のパーク&バスライド整備工事の内容は。

答 東武バス川島町役場線を利用する際に、役場まで車で来た方の駐車場表示と看板を設置するものです。

●平成28年度川島町一般会計決算認定について

問 ふるさと納税の使い道について

て、寄付の趣旨をどう反映しているのか。

答 寄付を受ける際に希望目的の調査を行い、年度の予算を組む中で、反映しています。

問 たばこ税は安定な財源となっている。庁舎の喫煙所を増やす考えは。

答 税込と結び付けて喫煙所を整備するのは難しいと考えている。

問 旧役場本庁舎等アスベスト事前調査業務の内容は。

答 旧役場本庁舎、別館、第2庁舎のアスベストを含む建材のリストアップの調査です。

問 情報管理費電算機借上料の契約方法は。

答 5年のリース契約で、当初は入札で業者を決定。その後は毎年借上料を支出しています。

問 スタミナすったて井のその後

答 チラシの配付、ポスターの掲示など行ってきた。すったて・呉

汁に続く町の名産となるようPRしていきます。

●平成28年度水道事業会計決算認定について

問 県水の受水量の今後と水道料金

答 県の協議により、今年度から県水と自己水の割合を6対4としたので3〜4年は施設の状況を確認しながら、料金の改定について検討します。



# 西中学校が道徳教育研究推進モデル校に指定

●平成29年度川島町一般会計補正予算（第2号）

【問】子育て支援総合センター工事の内容は。

【答】クッションフロア貼り付け工事と相談室のエアコン設置、ホールを年齢層に区切るネット工事です。

【問】放課後児童クラブ補助事業の基準は。

【答】平成29年度から国の基準が改正され増額になりました。人数の



素足で歩ける廊下に（かわみんハウス）

基準額、開設日数加算、長時間加算等3クラブとも約100万円の増額です。

【問】西中の道徳事業はモデル校として、どのような事業を行うのか。

【答】県の「道徳教育研究推進モデル校」として、道徳教育の抜本的改善を目指し、授業の工夫・改善を行っています。「考え、議論する道徳教育」に変える研究を進めています。

●平成28年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

【問】準要保護家庭が7人に1人該当するが対策は。

【答】全国平均より貧困率は低いのが対策として、通塾が困難な家庭を対象に通塾支援を始めました。

【問】放課後児童クラブの保育料と用途は。

【答】3クラブの保育料は、かわじま学童クラブ8,000円、かつぱくらぶ12,500円、どりーむくらぶ12,000円で、補助

金は人件費と各クラブの事業費に使っています。運営上保育料に差が出ていますが、将来的には統一した保育料にしていきたいと考えます。

【問】町民体育祭の予備日と、小学校統合後の地区体育祭は。

【答】2年連続雨天中止になったので予備日を設けました。統合後の地区体育祭は、2地区合同で行う方向で調整しています。来年度の町民体育祭のあり方についてはスポーツ推進員を中心に検討をしています。

【問】延長保育の人数が大幅に減少した理由は。

【答】延べ人数ですので、利用者一人減で12か月で、年間利用者数が大幅に減ります。なお、延長保育の有料時間のみの人数です。

【問】し尿処理の施設設計装用消耗品費の減少は。

【答】ろ過装置のUF膜を2年かけて購入し、3年目で交換しており、

28年度は交換の年で購入していないため減少しております。

【問】町民会館の使用料と委託料は。

【答】貸館使用料は条例に基づいていただきます。委託料は清掃業務、冷暖房機器保守点検と舞台総合管理業務等です。

【問】循環型合併浄化槽補助金は。

【答】普及が進んでいないため、補助を続けます。普及率は74・5%です。

【問】埼玉中部資源循環組合の稼働予定と個人の搬入先は。

【答】平成34年後半、稼働予定です。直接搬入を予定しています。



かわじま学童クラブ活動風景

# 町の考えを問う

町政一般質問要旨 9月13日、14日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p><b>栗岩 輝治 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7期介護保険事業計画について</li> <li>・各種寄付金制度について</li> <li>・洪水、水害対策について</li> </ul>	<p><b>稲村 美代子 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川島町役場線について</li> <li>・かわみんタクシーについて</li> <li>・かわみんハウスについて</li> </ul>	<p><b>飯野 徹也 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つばさ南小学校学童クラブの整備について</li> <li>・「健康長寿のまちづくり推進計画」について</li> </ul>	<p><b>道祖土 証 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当町の教育環境について</li> <li>・かわしま子育て応援プランについて</li> </ul>	<p><b>小峯 松治 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育について</li> <li>・排水対策について</li> </ul>	<p><b>松原 謙司 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税について</li> <li>・かわしまイルミネーションについて</li> <li>・特産品開発について</li> </ul>	<p><b>新井 悦子 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢障がい者の介護利用について</li> <li>・農家の「収入保険」について</li> </ul>	<p><b>菊地 敏昭 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の行政サービス改革の取組状況について</li> <li>・指定管理者制度の導入の考えについて</li> <li>・公共施設等総合管理計画の進捗状況について</li> </ul>
---	--	--	--	---	---	---	--



**問** 比企管内の小・中学校の後援会組織数は

**答** 川島町を除き3校のみです

栗 岩 輝 治

**問** 町営の特別養護老人ホームの設置の考えは無いのか。第7期介護保険事業の現状の成行きは。

**答** 健康福祉課長 費用が膨大となるので設置の考えはありません。第7期介護事業計画は、2つのアンケートなどを実施の上、計画を作成します。

**問** 川島町では、小・中学校の後援会組織がある。義務教育制度なのに制度そのものが問題ではないか。

本来、任意制なのに、字費に組み込まれて徴収地区がある。改善すべきと思うが。

**答** 教育長 川島町の後援会組織に



組織されて55年の後援会(川島中)

**問** 比企管内の町村段階での後援会組織数は。

**答** 教育総務課長 小学校は、ときがわ町1校、中学校は吉見町と東秩父村の2校です。

**問** 昨今、異常気象により、洪水被害が続いており川島町でも、洪水時に避難場所の具体的な指示が必要だ。いざという時の避難場所(いのちの山)とか、ライフジャケットなどの準備が必要と思うが。

**答** 総務課長 ハザードマップは、平成31年度に発行予定です。現在、国で行っている荒川右岸広域避難検討会の広域避難のあり方を反映させる予定です。ライフジャケットは、町でも備蓄しておりますが、各地区には、自主防災組織の補助金を活用し、備えていただきたい。





川島町役場線バス

**問** 町役場線バス新設にあたりイン  
ター周辺の産業団地や八幡の工業団  
地と話し合いをしたか伺います。  
**答** 政策推進課長 インター周辺の  
産業団地は利用状況を把握しました。  
**問** 役場でのバス停留時間、バスの  
増便、土日の運行について伺います。  
**答** 政策推進課長 インター周辺企  
業へのアンケート、ワークシヨップ  
を通じて公共交通会議の中で話し  
合っており行きます。

**問** かわみんタクシー申し込みから  
登録者証発行までの日数を伺います。  
**答** 政策推進課長 数日分まとめて  
手続きをしますが、10日以内で発行  
しています。  
**問** 町長は行政報告の中で、町民目  
線でスピード感を持って進めると  
言っている。急いでいる人には仮登  
録者証を出す等して対応してほしい。  
**答** 政策推進課長 出来る限り、ス  
ピード感を持って対応していきます。  
**問** 高齢者が一人で病院へ行くのが  
見受けられるが、運転手の対応はど  
うなっているのか伺います。  
**答** 政策推進課長 乗客の方からは  
丁寧な対応と好評のようです。

**問** かわみんハウスにコーディネー  
ター等を配置する考えがありますか。  
**答** 子育て支援課長 指定管理者の  
職員は保育士や教員の経験があり、  
コーディネーターとしての役割も果  
たしていると考えています。  
**問** かわみんハウスの道路標識がな  
いとの声があるが作る予定は。  
**答** 子育て支援課長 関係機関と協  
議の上検討します。



答

問

町役場線の増便、土日運行は  
公共交通会議の中で  
話し合っています

稲村 美代子

**問** 町の学童保育について  
来春、4つの小学校が2校に統合、  
つばさ南小学校と、つばさ北小学校  
が誕生します。

統合される4校では、平成24年か  
ら、川島学童クラブが開設されてい  
ます。本年度は55名の児童数となっ  
ており、統合後の児童の受け入れが  
困難な見通しです。

町は、学童保育の現状、統合後の  
学童クラブの整備についていかに考  
えているか。

**答** 町長 放課後児童クラブは、重  
要な施策の1つだと考えています。  
小学校区に1つあることが理想で

つばさ南小学校  
学童保育の整備は

早急に方針を決めて  
行きたいと考えている



答

問

飯野 徹也



川島学童クラブの活動拠点  
(かわみんハウス)

あることは十分理解しています。  
つばさ南小学校学童クラブの整備  
については、整備費用の費用対効果  
を検討し、子供たちにとって最善最  
良の方針を早急に決めて行きたいと  
考えています。

**問** 健康長寿のまちづくり推進計画  
について、本年7月末時点で、65歳  
以上の高齢者の総人口に対する比率  
は31・4%となり高齢化が進んでい  
る。元気で長生きすることは、町民  
皆の願いであると同時に、行政の健  
全な運営にとっても重要課題であ  
る。本年3月に策定された「健康長  
寿のまちづくり推進計画」について、  
町の課題、姿勢、行動計画、仕組み  
等について伺う。

**答** 健康福祉課長 計画は、課題を  
7つに整理し、基本となる理念を定  
め、各種健診の推進、筋力アップ教  
室、ハッピー体操の推進などを具体  
的な運動として、全庁、地域社会全  
体で推進する仕組みを作っていきます。



部活動の指導をする教職員

**問** 当町の教職員の勤務時間は。  
**答** 教育長 平成28年6月の1ヶ月間小中学校各1校を抽出し、勤務時間実態調査を行った結果小学校で8%、中学校で32%の教職員が月80時間を超える時間外勤務で、勤務時間外の1日平均在校時間は小学校平均が2時間30分、中学校平均が3時間です。

**問** 勤務時間外の仕事内容は。  
**答** 教育長 授業の準備、会議、学級経営のことや部活動等によるものです。

**問** その後の対応は。



**問** 当町の教職員の勤務時間は

**答** 中学校教員の32%が月80時間超の時間外勤務

道祖土証

**問** 先生方に休みをとってもらいました。  
**答** 教育長 全ての小中学校で今年の8月14日〜16日を学校閉庁とし、先生方に休みをとってもらいました。

**問** 当町の小中学校のエアコンの設置状況は。  
**答** 教育総務課長 小中学校の普通教室におけるエアコン設置率は、100%となっています。

**問** エアコンの使用判断を室温30℃以上にこだわらないで積極的に活用すべきだと考えますが。  
**答** 教育総務課長 室内温度が30℃程度の場合にエアコンを使用できることとしていますが、近年は気温や湿度が高い日が多く、児童・生徒の健康面を最優先に考え、学校の判断で使用するようにしています。

**問** 放課後児童クラブについて、今後指定管理者制度などを活用し、町が積極的に関わる考えは。  
**答** 子育て支援課長 指定管理者制度や民間事業者への委託なども踏まえ、子どもたちにとって最善の方針を検討していきたいと考えています。

**問** 現在、グローバル社会が一層進展し、これに適合する人材育成とともに少子化の中で一人一人の能力を伸ばし、たくましく生きる力を育み、社会に貢献できる人づくりは急務であり、教育の果たす役割は非常に大きい。その中で学力向上対策はどのように行っているのか伺います。  
**答** 教育長 川島町は、平成26年度の全国学力・学習調査で非常に厳しい結果を受け、町内全小中学校長からなる学力向上推進委員会を組織し、学力向上に向けた授業の進め方、授業研究を行って来しました。また教師の指導力の向上、家庭学習の充実の

**問** 学力向上対策は  
**答** 学力向上推進委員会を組織し推進

小 峯 松 治

**問** 道徳教育が平成30年度から小学校、31年度から中学校で教科化されるが、今までとどう変わるのか。  
**答** 教育長 新たにスタートする道徳は、大津のいじめ事件から発祥したもので、様々な文化と価値観を持った人々と互いに尊重しながら生きる力を身に付ける教育を目指し、自ら考え、議論する道徳への質的転換を図る事を狙いとしています。

**問** 大きな排水路はほぼ整備が出来ているが、地域の排水路はまだまだの状況です。地域の基幹となる排水路を定め、整備計画を立てて計画的に整備して欲しいと思うが、町の考えを伺います。  
**答** 町長 市街化調整区域の地域ごとの排水整備については、地域のご意見を賜りながら進めて参りたいと考えています。



グループ毎に発表する小学校の様子



ふるさと納税制度を活用し町のPRを

**問** 賛否があるふるさと納税制度ですが、当町としては今後、ふるさと納税に対してどのようなスタンスで対応していく予定ですか。

**答** **町長** 特産品やメイドイン川島の商品などを全国の方々にPRできる手段であり、地域振興や町財政に資するものです。川島町を応援したいと思う方々の寄附を頂けるような仕組みづくりを継続していきます。

**問** 昨年、かわしまイルミネーションが初開催されました。反省点や反響、今年の内容の検討状況はどのよう

**答** 昨年、かわしまイルミネーションが初開催されました。反省点や反響、今年の内容の検討状況はどのよう

**問** 開発中のいちじく加工品の進捗状況はどのようになっていますか。

**答** **農政産業課長** 川島町6次産業化推進協議会にて、9品を考案。くるみ餅、ジェラート、ケーキの3品を商品化候補にし、商品化に興味を示した業者にレシピ提供。改良を加えた試作品を年内に開発し、年度内に商品化を予定しています。



答

問

今後のふるさと納税への対応は  
PR手段として継続していきたい

まつばらけんじ  
松原謙司

うになっっていますか。

**答** **まち整備課長** 反省点としては、PRが遅かったなど。反響としては「他の町にない落ち着きのある雰囲気と居心地がよい」などです。今年は、小学生が製作したあんどんで、幻想的世界の演出を検討中です。

**問** 開催経費のうち、国からの交付金と町の負担額はいくらですか。

**答** **まち整備課長** LEDライト設置費用やチラシ代等の約1,000万円が国からの交付金で、来場者へ配布した光るブレスレットや、会場設営費等の約75万円が町負担の経費です。

**問** 改正介護保険関連法に、高齢者と障がい者が同一事業所でサービスを受けやすくするため共生型サービスを位置づけました。これにより利用サービス料はどのようになるのか。

**答** **健康福祉課長** 一定の条件に該当する場合は介護保険サービスの利用負担が軽減されますが、具体的には現時点での提示がなされておりません。

**問** 介護保険利用年齢65歳になるまでの相当の長期間にわたる障がい福祉サービスを利用してきたとありますが長期間とは。また障がい者の一定以上の障がい支援区分とは。

**答** **健康福祉課長** 65歳に達する日の前から5年間に渡り障がい福祉サービスを受けていた方です。支援区分2以上です。

**問** 農家の経営安定対策として収入保険制度が実施されますが、町としての対応は。

**答** **農政産業課長** 収入保険制度は、自然災害による収量減少に加え、農産物の価格低下等、農業者の経営努力では避けられない収入減少を保証する制度です。青色申告を行うなど幾つかの諸条件がありますが、窓口となる埼玉県農業共済組合と連携し、正確な情報を提供していきます。

**問** 収入保険制度の対象人数は。

**答** **農政産業課長** 青色申告が要件となるので、農業青色申告研究会の会員97人に研究会に入っていない人を加えた数になります。

**問** 収入保険の内容は。

**答** **農政産業課長** 5年間の基準平均収入の9割を下回った場合、補填額が支払われます。



高齢障がい者が介護保険へ移行

高年齢障がい者が  
介護保険へ移行すると

介護保険サービスの  
利用負担軽減



あらいのぞみ  
新井悦子



問

行政サービス改革の取組は

答

将来の川島町に何が必要かを  
考え見直しと向上を行う

菊地敏昭

問 町の行政サービス改革の取組は。

答 町長 既成の枠組みや概念にとらわれることなく、新しい考え方を取り入れつつ、将来の川島町に、今何が必要かを念頭に行政サービスの見直しと向上を常に行っています。

問 H P の作成運営も、同様に委託して  
ます。また、利用者の利便性を向上  
させるため、H 28 年 3 月より、リ  
ニューアルし即時に情報を掲載でき  
るようにし H 28 年度は約 23 万件の閲  
覧数がありさらなる情報の見やすさ、  
利便性の向上を図っていきます。

問 指定管理者制度の導入の考えは。

答 町長 民間のノウハウを導入で  
き、住民サービスが向上する、自治  
体の経費削減が図られる等のメリッ  
トがあり、行政を推進する中で大切  
な課題となっております。現状では  
個々の施設状況と経緯があり、すぐ  
指定管理に移行することは難しい状  
況です。しかし将来的には、役場周  
辺の平成の森公園、町民会館、図書館、  
町民体育館、総合運動場等は指定管  
理者の導入について検討を進めなく  
てはならないと考えます。

問 公共施設等総合管理計画進捗は。

答 町長 適宜必要な修繕や改修な  
ど、引き続き限られた財源の中で、  
計画的に維持管理を進めていきます。



どうする？保健センターの管理運営

## 川越地区消防組合議会

菊地敏昭  
飯野徹也  
小峯松治

第 3 回臨時会は、平成 29 年 6 月 30 日、午後 1 時開議されました。会議は、会期を 1 日間と定め、補欠選挙により当選した議員の議席の指定及び議席の一部変更、並びに特別委員の選任が行われました。続いて出席者の報告、会議録署名議員の指名が行われ、議案の審議に入りました。上程された議案は、議案第 5 号、議案第 6 号の 2 件です。

議案第 5 号は、「救助工作車の取得」についてです。

車両の概要は、全長 7・8 m、全幅 2・3 m、全高 3・2 m、総重量 11・9 トン、排気量 5, 123 cc、定員は 6 名です。5 社による指名競争入札の結果、東京日野自動車(株)新狭山支店が落札、契約金額は 1 億 3, 910 万 4 千円

で契約をするものとの説明の後、質疑討論採決が行われ、全員賛成で可決されました。

議案第 6 号は、「消防ポンプ自動車取得」についてです。

車両の概要は、全長 5・76 m、全幅 1・92 m、全高 1・92 m、総重量 6・8 トン、排気量 4009 cc、定員は 5 名です。5 社による指名競争入札の結果、埼玉消防機械(株)西部営業所が落札、契約金額は 4, 014 万 3, 600 円で契約するものとの説明があり、質疑討論採決が行われ、全員賛成で可決されました。(飯野)



### 川越地区消防組合とは？

○川越地区消防組合は昭和 48 年に設立し、川越市、川島町の 2 市町によって組織されています。消防・救急、火薬類取締法・液化石油ガス法・高圧ガス保安法に基づく事務を実施しています。

## 埼玉中部資源循環組合議会

・小高春雄  
・山田敏夫

第2回埼玉中部資源循環組合議会定例会が、8月10日に開催されました。

平成29年5月9日に管理者に選出された、宮崎善雄吉見町長より、就任のあいさつがありました。また、議長選挙の結果、吉見町の小林周三議員が議長に選出されました。

平成29年度一般会計補正予算(第1号)など5件の議案について審議されました。

議案第6号「専決処分について」は、一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、条例に基づく職員を3月中に公表する必要があったため、専決処分したものです。

議案第7号「職員の育児休業等に関する条例の一部改正」は、地方公務員の育児休業等に関する法

## 埼玉中部資源循環組合とは？

○埼玉中部資源循環組合は平成27年4月1日に発足し、東松山市、桶川市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町、東秩父村9市町村によって組織されています。

川島町は、平成27年12月1日に加入しました。

可燃ごみ及び粗大ごみの処理施設の建設及び管理運営並びにこれに付帯する事務を共同処理していきます。

律等の一部改正に伴い、育児に係る子の範囲の拡大をするものです。

議案第8号「平成29年度一般会計補正予算(第1号)」は、歳入歳出予算にそれぞれ、566万3千円を追加し、予算の総額を5億5,066万3千円とするものです。主なものは総務管理費の追加です。

議案第9号「平成28年度一般会計歳入歳出決算認定について」は、歳入決算額を3億8,551万1千円、歳出決算額を3億3,088万2千円とするものです。

議案第10号「監査委員の選任について」は、斉藤雅男議員が辞職したため、新たに桶川市の江森誠一議員が選任されました。

採決の結果、全議案とも異議なく、原案どおり可決されました。(小高)

## 比企広域市町村圏組合議会

・森田敏男  
・道祖土証

第3回比企広域市町村圏組合議会定例会が、8月9日に開催されました。本町が加入していない消防特別会計は、省略いたします。

議案第19号「監査委員の選任について」は、荻野勇議員(吉見町)が選任されました。

議案第20号「平成29年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算(第1号)」は、270万9千円を追加し、総額を7,870万9千円とするものです。

議案第22号「平成29年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計補正予算(第1号)」は、1,266万3千円を追加し、総額を1億8,466万3千円とするものです。

議案第23号「平成29年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査特別会計補正予算(第1号)」は、734万円を追加し、

総額を7,434万円とするものです。

議案第24号「平成29年度比企広域市町村圏組合公平委員会特別会計補正予算(第1号)」は、11万3千円を追加し、総額を71万3千円とするものです。

議案第25号「平成28年度比企広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算認定」は、収入済額7,698万5,957円、支出済額6,329万6,890円、歳入歳出差引額1,368万9,067円です。

議案第27号から議案第29号までは、「斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計」、「介護認定及び障害支援区分審査特別会計」、「公平委員会特別会計」の3つの特別会計の平成28年度決算認定です。

採決の結果、全議案とも異議なく、原案どおり可決されました。(道祖土)

## 比企広域市町村圏組合とは？

○比企広域市町村圏組合は、昭和48年に設立し、東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町、東秩父村の8市町村によって組織されています。

消防・救急業務、斎場の管理運営、また、介護障害審査会を設け、要介護や障害支援認定の申請に対して効率・公平的に判定作業を行うなどの事務を実施しています。

※川島町は「川越地区消防組合」に加入しているため、消防救急業務には関与していません。

◆総務経済建設常任委員会所管事務調査

空き家対策事業について、農地中間管理機構を活用した農地の集積について

①調査期間：平成29年7月20日(木)～21日(金)  
②視察地：新潟県見附市・長岡市

■空き家対策事業について

見附市では、老朽化し積雪で空き家が倒壊するケースが相次いだため、平成24年6月に「空き家等の適正管理に関する条例」を制定しました。

条例については、実効性のある条例にするために、行政指導・行政命令・行政代執行を盛り込むとともに、市民等の役割として、市への情報提供、情報に基づき市が実施する必要な措置に協力する、旨を定めています。

条例を制定した成果としては、

78棟あった危険空き家のうち、条例施行前は7棟の解決(再利用2棟、解体5棟)だったものが、条例施行後は48棟(修繕等23棟、解体25棟)が解決しています。

解体できた事例の中には、所有者が死亡し20年間空き家になっていたものについて、10名の相続人を探し「助言・指導書」を送ったが、空き家を解体することを相続人に理解してもらうのに苦労した。また10人とも高齢の年金生活者のため、解体費用が工面できなかったが、土地を売却することにより、その売却費で、解体が完了した事例もある、とのことでした。

■農地中間管理機構を活用した農地の集積について

長岡市求草地区は、集落戸数40戸のうち農家戸数は25戸、農地面積約27haの地区です。平成18年度に地区の若手・後継者集会で、ほ場整備事業に取り組むことに合意し、平成20年度には、ほ場整備後の営農形態を1集落1農場型の組合組織で行うことに合意しまし

た。

農事組合法人については、ほ場整備に併せて地区のこれからの農業のあり方について話し合い、平成26年に5戸の担い手を含む20戸が参加する「農事組合法人 もとめぐさ」を設立しました。

また、基盤整備や法人設立の話し合いの機会を利用し、農地中間管理機構の活用についても集落全体で話し合いを行い、集落の約84%、23haの農地を法人に集積しました。そして、市・農業委員会・国・県で連携し、ほ場整備の進捗に合わせた機構への貸付手続きを支援し、地域集積協力金約82.8万円、経営転換協力金860万円、耕作者集積協力金約149万円の交付を受けています。

藤田代表理事の感想は、若手・後継者世代が、しっかりと将来のことを考えてくれたから、ほ場整備ができた。しかし、最初の理念が、「自分たちの農地は自分たちで守る。」というところで始まったため、利益を追求する規模拡大は、今後難しいと思う、とのことでした。



長岡市役所での研修

所管事務調査を終えて

委員長 飯野 徹也

見附市のように、豪雪のため老朽危険空き家が倒壊するという問題は、本町ではないと思いますが、空き家の老朽化により、将来管理義務者が特定できなくなったり、解体や補修ができなくなるなどの問題は、今後本町でも検討しなければならぬと感じました。

長岡市求草地区のように、利益を追求する規模拡大でなく、「自分たちの農地は自分たちで守る。」という信念のもと、地域で農地を守っていくという取り組みは、農地を守っていく方法の1つとして、今後本町でも参考にしてもいいのでは、と思いました。



◆ 文教厚生常任委員会所管事務調査

小中学校における学力向上の取り組みについて、子育て支援について

① 調査期間：平成29年7月13日(木)～14日(金)  
② 視察地：秋田県大仙市・横手市

■ 小中学校における学力向上の取り組みについて

大仙市の学力向上の特色ある取り組みとしては、外国語教育の充実実事業として、①秋田市にある国際教養大学との交流事業(准教授との共同研究によるオールイングリッシュTTT(チームティーチング)指導、教員研修)などを行っています。



大仙市役所での研修

る学びの創造として、①学力向上推進委員会の設置(教育指導部に設置されている教育研究所が主管となり、校長、教育専門監、教諭指導主事など約30名により、学習状況調査などの分析、及びフォローアップシートの提供、課題解決策の提案などを行う。)②教育専門監の配置事業(秋田県が全県で36人指定している優れた指導力をもつ教諭である教育専門監を、県内最多の5名配置し、複数校を兼務して教師の指導力の向上を図り、担任とのTTTによる魅力ある授業を提供する。)などを行っています。

取り組みの成果としては、平成28年度全国学力・学習状況調査において、学力上位の県である秋田県の中でも、小学校は4科目全て、中学校は数学Aを除く3科目で、県の平均を上回っています。

■ 子育て支援について

横手市の特徴のある子育て支援の取り組みとしては、子育て支援総合コーディネーターの配置があります。子育てに関する様々な情報を一元化して情報提供し、親子

にとってより身近な存在として、相談、情報提供、関係機関との調整役を担っています。

コーディネーターは、子育てサークルを立ち上げたメンバーの方が非常勤職員として2名配置されており、ボランティアなどを通じて様々な情報を持っています。利用者の声としては、「子育てに関する相談など、いきなり専門機関に相談するのは。」という方のためになつていいるのでは、とのことでした。

さらに平成25年4月からは、行政だけでなくコーディネーターと、子育て中のお母さんが一緒に完成させた登録制の「子育て情報サイトはぐはぐ」を稼動し、子育てに関するいろいろな情報が、このサイトからアクセスできるよう情報の一元化を図りました。このサイトの閲覧数は、1日平均約1000件となっており、子育て世帯が広く活用しているとのことでした。



所管事務調査を終えて

委員長 新井 悦子

本町でも昨年度より学力向上に取り組んでいます。指導力のある先生が複数校を兼務して教師の指導力の向上を図り、担任とのTTTによる魅力ある授業を提供することや、川島版学力向上推進委員会設置等の取り組みをするとともに、さらに家庭教育の推進も図るべきだと思いました。

横手市の子育て支援総合コーディネーターの配置による、子育て支援制度の相談や情報提供、また「子育て情報サイトはぐはぐ」からの子育てに関する様々な情報提供などの特徴のある取り組みは、本町でも今後研究してほしいと思います。

## 議会日誌

### 8月

- 9日 比企広域組合議会定例会
- 10日 埼玉中部資源循環組合議会定例会
- 29日 議会運営委員会  
議会全員協議会

### 9月

- 3日 川島町総合防災訓練
- 5日～15日 9月定例会
- 15日 議会全員協議会  
議会報編集委員会
- 16日 各地区小学校運動会

### 10月

- 2日 議会報編集委員会
- 3日 川越地区消防組合議会定例会
- 10日 議会報編集委員会
- 19日 埼玉県町村議会議員研修会

## 北朝鮮による核実験及びミサイル発射 実験に抗議する決議を国へ提出しました。

朝鮮民主主義人民共和国による核実験及びミサイル発射実験に抗議する決議

朝鮮民主主義人民共和国（以下「共和国」という。）は、平成29年9月3日、ICBM（大陸間弾道ミサイル）搭載用の水素爆弾の実験を実施したと発表した。

共和国は、これまで国連安保理が強く非難したにも関わらず、今回を含め、6度にわたり核実験を強行したことや、8月には日本の領土上空を通過させたミサイル発射を含め、これまで数多くのミサイル実験を行った。このことは、我が国の安全保障に対する重大かつ差し迫った新たな段階の脅威であり、北東アジア地域に限らず、国際社会の平和と安全を脅かすものであり、世界で唯一の被爆国である我が国にとって断じて容認できない。

よって、本町議会は、共和国の核実験実施に断固抗議するとともに、国際社会の平和と安全を脅かす挑発的な行動を中止し、今後の核実験と核兵器に関する計画を放棄することを強く求める。

併せて政府においては、我が国の平和と安全の確保、国民の安心安全に万全を期し、引き続き関係各国や国際社会と連携・協力の下、共和国に強く自制を求めるとともに、9月12日に全会一致で採択された国連安保理決議を厳格に履行してその実効性を確保し、我が国独自の制裁措置を一層強化するよう求める。

以上、決議する。

平成29年9月15日

埼玉県川島町議会

## 表紙解説

過日、八ッ保地区体育祭が小学校と合同で行われました。天候が心配されましたが、なんとか持ち小学生・保護者・地域の人たちが一丸となって熱戦が繰り広げられました。

写真は、4年・5年・6年生で行った台風と言う競技です。子ども達の輝く闘志が窺えます。

今年度末で小学校4校が廃止され、新たに2校に統合、平成30年4月より再出発します。各小学校とも100年以上の歴史の中、地域との深い関わりを持って子ども達の成長を育んできました。今年が最後の運動会となり、思い出の残る運動会が行われたものと思います。

来年は、新たな小学校で、賑やかに運動会が行われる事でしょう。

(写真・文章／小峯)

次回12月の定例会  
12月1日(金)  
開会予定です。

## 編集後記

各地区の体育祭も終了し、水田では刈り取りのコンバインが、ゴーゴーとエンジン音を立てて、刈り取り作業をしています。この号が皆様のお手元に届く頃には、刈り取りが終わり、おいしい米になっていると思います。

さて、本格的な秋を迎え、町では11月3日の生涯学習フェスティバル、11月23日の農業商工祭など、多くのイベントが開催されます。町の文化やおもしろさに触れ、町の魅力を再発見してみたい、いかがでしょうか。

これからも、「読みやすい・わかりやすい」をテーマに、皆様に親しまれる議会だよりを目指してまいりますので、ぜひご覧いただきますようお願いいたします。(遠山)

## 議会報編集委員会

委員長	栗 爲
副委員長	遠 山
委員	小 松 輝 順
委員	稲 村 尚 治 二
委員	松 美 代
委員	原 謙 子
委員	田 敏 男
相談役	森 田